

## ■地域文化研究専攻教員の活動(2012年1月～12月)

\*所属教員名の五十音順に、各人の研究活動を下記の項目にしたがって記載した。

\*該当業績のない項目は省略している。

\*前年記載漏れの業績なども含む。

A. 著書, B. 分担執筆, C. レフェリー付き学術論文, D. 一般学術論文, E. 翻訳, F. その他の業績,  
G. 国際学会での活動, H. 国内学会での活動, I. その他の研究活動, J. 受賞

### 相澤隆 (AIZAWA Takashi)

#### 足立信彦 (ADACHI Nobuhiko)

##### G. 国際学会

- Ein transnationales Symposium 'Fukushima-Diskurse II Technik, Gesellschaft und Medien. Universitätsclub Bonn. Bonn, Germany. 2012.3.5. 招待講演. Nach der Katastrophe - Misstrauen, Proteste und Hoffnungen. ドイツ語.
- Großes Ostasiatisches DAAD-Alumnitreffen zur Gründung überregionaler Fachnetzwerke, Verantwortliches Forschen und Handeln in asiatischen Bürgergesellschaften, Deutscher Akademischer Austauschdienst. Seoul. 2012.3.24. 招待講演. Germanistik als Wissenschaft einer ostasiatischen Bürgergesellschaft nach der Katastrophe. ドイツ語.

### 網野徹哉 (AMINO Tetsuya)

##### B. 分担執筆

- 網野徹哉. 憑依の社会史——初期ペルー植民地における宗教・政治的コンフリクトの一断面. 染田秀藤・関雄二・網野徹哉(編). 『アンデス世界——交渉と創造の力学』. p 448. pp 220-242. 世界思想社. 2012.
- 網野徹哉. インカ、その三つの顔——植民地期インカ表象の歴史的多様性について. 島田泉・篠田謙一(編). 『インカ帝国——研究のフロンティア』. p 428. pp 403-419. 東海大学出版会. 2012.

##### E. 翻訳

- 網野徹哉(監訳者). ケニス・ミルズ(著). 信仰の眼差しが見るもの——アンデスにおける魂の征服再考. 染田秀藤・関雄二・網野徹哉(編). 『アンデス世界——交渉と創造の力学』. p 448. pp 118-131. 世界思想社. 2012.

##### F. その他の業績

- 網野徹哉. 図録解説. 展覧会図録 植民地時代を生きたインカたち. インカ帝国——マチュピチュ「発見」100年. p 192. pp 24-27. TBS テレビ. 2012.

- 網野徹哉. エッセイ. インカ遺跡巡礼. 義井豊『義井豊写真集 インカ遺跡巡礼』. p 64. pp 4-7. TBS サービス. 2012.

#### G. 国際学会

- 第 54 回国際アメリカニスタ会議. ICA. ウィーン大学 (ウィーン). 2012.7.20. 一般発表. Un milagro de la Virgen y la libertad de los indios en Lima: aspectos históricos de la reducción urbana: el caso del Cercado y el barrio de San Lázaro. スペイン語.

#### I. その他の研究活動

- 網野徹哉. 記念招待講演. 国立科学博物館 (東京). 2012.4.8. インカ史万華鏡. 2012.
- 網野徹哉. 記念招待講演. 山梨県立考古博物館 (甲府). 2012.10.28. 石とインカ. 2012.

### 有田 伸 (ARITA Shin)

#### B. 分担執筆

- 有田伸. 韓国における「グローバル化に対応した人材」の育成政策とその枠組み——教育政策の考察を中心に. 樋口美雄, 財務省財務総合政策研究所 (編). 『国際比較から見た日本の人材育成——グローバル化に対応した高等教育・職業訓練とは』. p 292. pp 107-127. 日本経済評論社. 2012.

#### F. その他の業績

- 有田伸. 報告書原稿. 労働市場におけるポジショナルな報酬不平等の分析視座構築に向けて. 佐藤嘉倫 (編). 『グローバリゼーションの進展に伴う労働市場構造の再編成と雇用・生活リスクの変動に関する融合的研究 (公益財団法人田学術振興財団研究プロジェクト報告書)』. p 45. pp 3-4. 移動レジーム研究会. 2012.
- 有田伸. 項目執筆. 国際比較調査. 脱中心化, チーム翻訳, 適応, バック・トランスレーション (再翻訳). 大澤真幸, 吉見俊哉, 鷲田清一 (編). 『現代社会学事典』. p 1640. pp 424-425, pp 856-856, pp 882-882, pp 905-906, pp 1033-1033. 弘文堂. 2012.

#### G. 国際学会

- Annual Conference of the Association for Asian Studies. アジア学会. Sheraton Centre Toronto (トロント). 2012.3.15-3.18. 一般発表. Non-regular Employment in Korea: A Comparison with Japan. 英語.
- International Comparative Workshop on Inequality in Educational Returns in 14 Countries. European University Institute. European University Institute (フィレンツェ). 2012.6.21-6.22. 一般発表 (Yoshimichi Sato との共同発表). Educational Return and Social Inheritance in Japan. 英語.
- International Workshop “Social Science Data Preservation and Dissemination in East Asia”. 東京大学社会科学研究所. 東京大学社会科学研究所. 2012.12.7. 司会. 英語.

#### H. 国内学会

- 日本教育社会学会第 64 回大会. 日本教育社会学会. 同志社大学 (京都). 2012.10.28-10.29. 一般発表 (大島真夫との共同発表). 東大社研パネル調査 (JLPS) からわかる現代日本の若者像 (2)

—学校から職業への移行。

- 日本社会学会第85回大会。日本社会学会。札幌学院大学（江別）。2012.11.3-11.4。組織。日韓ジョイントパネル：ソーシャルメディアは社会を変えるか。
- 現代韓国朝鮮学会第13回研究大会。現代韓国朝鮮学会。早稲田大学（東京）。2012.11.10-11.11。シンポジウム報告。教育・社会階層研究と韓国研究の間で——社会科学における地域研究の貢献可能性を考える。
- ABE BROWN-BAG LUNCH。国際交流基金日米センター。国際交流基金（東京）。2012.12.13。一般発表。雇用構造と社会的不平等の日米韓比較。

#### アルヴィ宮本なほ子 (ALVEY MIYAMOTO Nahoko)

##### B. 分担執筆

- アルヴィ宮本なほ子。「この天来の小品」——シェリーの「インド風セレナード」再考。新見肇子、鈴木雅之（編）。『揺るぎなき信念——イギリス・ロマン主義論集』。p 466。pp 195-209。彩流社。2012。

##### G. 国際学会

- Imagining the Pacific, Imagining Australia. CPAS (Center for Pacific and American Studies, University of Tokyo). University of Tokyo, Komaba Campus. 2012.7.27. 一般発表。'A Wild Surmise': Romantic Encounters with the Pacific. 英語。
- Romantic Voyagers- Voyaging Romantics. School of English Film Theatre and Media Studies, Victoria University of Wellington. Wellington, New Zealand. 2012.9.29-9.30. 口頭発表。Augustus Earle: The Rise of Visual Journalism. 英語。

##### H. 国内学会

- イギリス・ロマン派学会第38回全国大会。イギリス・ロマン派学会。熊本大学。2012.10.20-21。一般発表。P. B. Shelly とイタリアの新しい声。
- ネットワークから考える——第20回地域文化研究専攻シンポジウム。東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻。東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール。2012.10.27。一般発表。世にも不思議な動植物とバンクスのネットワーク：エラズマス・ダーウィンとウパス。

#### 池上俊一 (IKEGAMI Shun-ichi)

##### A. 著書

- 池上俊一。『図説 騎士の世界』。p 116。河出書房新社。2012。
- 池上俊一。『中世幻想世界への招待』。p 424。河出文庫。2012。

##### C. レフリー付き学術論文

- 池上俊一。天使たちの中世。『西洋中世研究』。4。pp 2-4。西洋中世学会。2012。
- 池上俊一。天使の訪れ。『西洋中世研究』。4。pp 28-49。西洋中世学会。2012。

## F. その他の業績

- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 7—悦ばしき自然の発見, 『究』, 10, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 8—微笑の裏側, 『究』, 11, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 9—幻想のケルト, 『究』, 12, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 10—嘆きの哲学者, 『究』, 13, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 11—陽気連, 『究』, 14, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 12—囚われの貴公子, 『究』, 15, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 13—憎しみのラウダ, 『究』, 16, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 14—ドイツ魂の詩人, 『究』, 17, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 15—隙間の諧謔, 『究』, 18, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 16—接吻のエロティック, 『究』, 19, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 17—巡礼の歌, 『究』, 20, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 抒情の中世 18—放浪学僧の歌, 『究』, 21, pp 40–43, ミネルヴァ書房, 2012.
- 池上俊一, エッセイ, 最悪の怪物「狼男」とキリスト教, 『メーテレ本—あなたは羊ですか、それとも狼ですか。』, p 113, pp 78–79, 朝日新聞出版, 2012.
- 池上俊一, 新刊紹介, Anabel THOMAS, *Garrisoning the Borderlands of Medieval Siena: Sant'Angelo in Colle, Frontier Castle under the Government of the Nine (1287–1355)*, p 422, Farnham-Burlington (VT), Ashgate, 2011, 『西洋中世研究』, 4, pp 238–238, 西洋中世学会, 2012.
- 池上俊一, 項目執筆, ブロック、マルク, 封建社会, 封建制度, ルネサンス, 『現代社会学事典』, p 1640, pp 1122–1122, pp 1161–1162, pp 1332–1333, 弘文堂, 2012.
- 池上俊一, 監修および解説, スティーヴン・グリーンブラット (河野純治訳), 『一四一七年、その一冊がすべてを変えた』, p 395, pp 330–334, 柏書房, 2012.

井坂理穂 (ISAKA Riho)

## B. 分担執筆

- Isaka, R. Indian Nationalism and Gujarat Ni Asmita: KM Munshi on Language Problems. Sharmina Mawani and Anjoom Mukadam (eds). *Gujarati Communities Across the Globe: Memory, Identity and Continuity*. p 175. pp 89–105. Trentham Books. 2012.

#### F. その他の業績

- 井坂理穂. 項目執筆. ナラシンハ・メヘター, パーティーダール, ポストコロニアル文学. 辛島昇他 (監修). 『[新版] 南アジアを知る辞典』. p 1073. pp 570–570, pp 611–611, pp 737–737. 平凡社. 2012.
- 井坂理穂. コラム. 漫画からみる現代インド. 『フィールドプラス』. 8. pp 30–31. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. 2012.
- Isaka, R. コラム. Postcard from Japan: The Magical Charm of Manga. *Art India: Graphic Novels & Comics*. 16.4. pp 54–57. 2012.

#### G. 国際学会

- Lecture. Lalbhai Dalpatbhai Institute of Indology (Ahmedabad). 2012.12.28. 招待講演. South Asian Studies in Japan. 英語.

#### H. 国内学会

- 日本南アジア学会第 25 回大会. 日本南アジア学会. 東京外国語大学. 2012.10.6. 一般発表. 植民地期インドにおけるイギリス人家庭と料理人.
- 2012 年度第 3 回 FINDAS 研究会——インド、「食」をめぐる断章. 東京外国語大学拠点現代インド研究センター (FINDAS). 東京大学駒場 I キャンパス. 2012.11.17. 一般発表. 植民地期インドのミドル・クラス家庭における「食」.

### 石井 剛 (ISHII Tsyoshi)

#### B. 分担執筆

- 石井剛. 項目執筆. 動向・文化「思想」. 中国研究所. 『中国年鑑 2012』. p 535. pp 205–207. 中国研究所発行・毎日新聞社発売. 2012.

#### F. その他の業績

- 石井剛. 書評. 渦巻く公共空間と「義」の条件. 中島隆博. 『共生のプラクシス 国家と宗教』. 『教養学部報』. 548. 2012.

#### G. 国際学会

- 台湾大学哲学系—東京大学教養学部“感受台湾研習班”活動. 台湾大学哲学系. 台湾大学 (台北). 2012.2.20. 招待講演. 実践的思想, 思想の実践: 有関個体生存的の追問及“我們的時代”. 中国語.
- “東亜視野下の日本哲学”国際学術研討会. 台湾大學人文社会高等研究院. 台湾大学 (台北). 2012.9.1–9.2. 一般発表. “経”和“天下”: 評述平岡武夫の経史研究. 中国語.
- 哲学教育与当代社会—世界大学哲学系主任聯席會議. 北京大学哲学系. 北京大学 (北京).

- 2012.10.28. 一般発表, 哲学作為一個多元一体的場域: 日本哲学実践的機遇与挑戰, 中国語.
- UTCP The 1st Asian Philosophy Forum “Mesology (*fudoron*) in the Light of Yamanouchi Tokuryū’s *Logos and Lemma*” by Augustin Berque. 東京大学共生のための国際哲学研究センター (UTCP), 東京大学駒場キャンパス, 2012.11.6. 英語, モデレーター.
  - “章太炎學術思想の新開掘” 国際學術研討会, 中国人民大学哲学院, 中国人民大学 (北京), 2012.11.10–11. 一般発表, 經的“精神”在哪里?: 平岡武夫对章太炎的批判, 中国語.
  - “章太炎學術思想の新開掘” 国際學術研討会, 中国人民大学哲学院, 中国人民大学 (北京), 2012.11.10–11.11. 中国語, 第2日目セッション司会.
  - UTCP The 2nd Asian Philosophy Forum “Whither Modern Chinese Philosophy?”. 東京大学共生のための国際哲学研究センター (UTCP), 東京大学駒場 I キャンパス, 2012.11.17. 英語, モデレーター.
  - シンポジウム「グローバル時代の韓国的価値と文明研究」, 朝鮮王朝後期 (19世紀-20世紀初頭) 韓国の実学思想と民俗宗教運動の公共性研究」研究プロジェクト, 円光大学校, 韓国円光大学校 (益山), 2012.11.29. 一般発表 (代読), 明治後期の日本社会における国家と宗教の公共性——「煩悶」をめぐる姉崎正治と高山樗牛の思想——, 日本語.

#### H. 国内学会

- UTCP上履共生哲学寄付研究部門オープニングシンポジウム「Ethics in Change 新たな共生の方位」, 東京大学共生のための国際哲学研究センター (UTCP), 東京大学駒場 I キャンパス, 2012.6.16. 一般発表, 孕孳於廢墟——物與名的倫理契機 (廢墟においてうまれ、ひろがる——物と名の倫理的契機), 中国語, 日本語.

### 石井洋二郎 (ISHII Yojiro)

#### B. 分担執筆

- 石井洋二郎, エドワード・W・サイード『オリエンタリズム』, 東京大学出版会『UP』編集部, 『東大教師が新入生にすすめる本』, p 273, pp 9–9, 東京大学出版会, 2012.

#### F. その他の業績

- 石井洋二郎, エッセイ, 沈黙をめぐって——ランボーとヴァレリー, 『ヴァレリー集成 V 月報』, 筑摩書房, 2012.
- 石井洋二郎, 連載記事, 作家の肖像 1 ルネ・デカルト, 『ふらんす』, 87.4, pp 86–89, 白水社, 2012.
- 石井洋二郎, 書評, 「歴史」と「物語」の間, 長谷川まゆ帆 (著), 『さしのべる手』, 『教養学部報』, 546, 2012.
- 石井洋二郎, 連載記事, 作家の肖像 2 モリエール, 『ふらんす』, 87.5, pp 54–57, 白水社, 2012.
- 石井洋二郎, 連載記事, 作家の肖像 3 ジャン=ジャック・ルソー, 『ふらんす』, 87.6,

pp 54–57. 白水社, 2012.

- 石井洋二郎. 連載記事. 作家の肖像 4 ドゥニ・デイドロ. 『ふらんす』, 87.7. pp 54–57. 白水社, 2012.
- 石井洋二郎. 連載記事. 作家の肖像 5 スタンダール. 『ふらんす』, 87.8. pp 54–57. 白水社, 2012.
- 石井洋二郎. 連載記事. 作家の肖像 6 オノレ・ド・バルザック. 『ふらんす』, 87.9. pp 54–57. 白水社, 2012.
- 石井洋二郎. 連載記事. 作家の肖像 7 ヴィクトル・ユゴー. 『ふらんす』, 87.10. pp 54–57. 白水社, 2012.
- 石井洋二郎. 連載記事. 作家の肖像 8 ジョルジュ・サンド. 『ふらんす』, 87.11. pp 54–57. 白水社, 2012.
- 石井洋二郎. 連載記事. 作家の肖像 9 シャルル・ボードレー. 『ふらんす』, 87.12. pp 54–57. 白水社, 2012.
- 石井洋二郎. エッセイ. 映画のバリ、小説のバリ. 『キネマ旬報』, 1626. pp 30–31. キネマ旬報社, 2012.

#### H. 国内学会

- 日本フランス語フランス文学会 2012 年度春季大会. 日本フランス語フランス文学会. 東京大学本郷キャンパス. ワークショップコーディネーター及び発表. 『感情教育』のバリと『マルドロールの歌』のバリ——ブルデューを媒介項として. 『文学とその〈外部〉』.

### 石田勇治 (ISHIDA Yuji)

#### B. 分担執筆

- Ishida, Y. Overcoming the Past? The Postwar Japan and Germany. Han, Sang-Jin (ed.), *Divided Nations and Transitional Justice: What Germany, Japan, and South Korea can teach the World*, Boulder, Paradigm Publishers. p 272. pp 146–159. 2012.

#### F. その他の業績

- 石田勇治. 解説. 和解とは何か. 第 5 回強制動員真相究明ネット全国研究集会 (2012.4.7) 報告集. p 88. pp 4–5. 2012.
- 石田勇治. 項目執筆. ドイツ分割 (1949 年), ベルリンの壁構築 (1961 年), 西ドイツ・プラントの東方政策 (1969 年以降). 歴史学研究会 (編). 『世界史史料. 11. 20 世紀の世界 II. 第二次世界大戦後 冷戦と開発』, p 432. pp 78–80. pp 114–115, pp 243–244. 岩波書店, 2012.

#### G. 国際学会

- The 3rd Global Conference on Genocide. The International Network of Genocide Scholars. Genocide: Knowing the Past, Safeguarding the Future. San Francisco State University, San Francisco, USA. 2012.6.30. 一般発表. Genocide Research in Japan: Taking a Step Forward for ‘Sustainable’ Genocide

Prevention. 英語.

- 日独ワークショップ *Zeitgeschichte im Vergleich. Japan und Deutschland im 20. Jahrhundert.* Martin-Luther Universität Halle. Martin-Luther Universität Halle-Wittenberg. 2012.2.2-2.3, 2.6-2.7. 連続講演. *Zeitgeschichte im Vergleich. Japan und Deutschland im 20.* ドイツ語.

#### I. その他の研究活動

- 日独共同大学院プログラム (IGK). 2012 年春季アカデミー. 東京大学. 2012.3.6-3.10. コーディネートと司会.
- 日独共同大学院プログラム (IGK). 2012 年夏季アカデミー. ハレ大学. 2012.7.13-7.17. コーディネートとパネリスト.
- 東京大学グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター公開ワークショップ「政治的秩序構想としての領土と生存空間」. 東京大学グローバル地域研究機構ドイツ・ヨーロッパ研究センター. 2012.11.21. コーディネートと司会. ドイツ語.

### 石橋 純 (ISHIBASHI Jun)

#### B. 分担執筆

- 石橋純. ベネズエラ民謡〈ホローボ〉の創造——知識人と民衆知. 細川周平(編). 『民謡からみた世界音楽——うたの地脈を探る』. p 440. pp 255-271. ミネルヴァ書房. 2012.

#### F. その他の業績

- 石橋純. 新聞記事. 東大のベネズエラ音楽合奏団 BBC のトップニュースに: エストゥディアンティーナ駒場の活躍. 『教養学部報』. 551. 2012.

#### G. 国際学会

- *Ciudadanía y Movimientos Sociales: En búsqueda de la inclusión.* Univeridad Autónoma Mexiquense・科研費プロジェクト「グローバル化時代における南北アメリカの国家・市民社会・社会運動」共催. Museo Taller Nishizawa (トルーカ, メキシコ). 2012.9.6. 国際セミナーの組織.

#### I. その他の研究活動

- 講演. ベネズエラの音楽. 2012.2.5. 函館音楽鑑賞協会年次総会における招待講演. 函館市民会館.
- コンサート企画, 運営, 司会. 第 12 回駒場友の会演奏会 AHONDA. 2012.3.10. 東大駒場キャンパス 21 KOMCEE MM ホール.
- コンサート企画, 運営, 司会. *Estudiantina Komaba en Osaka.* 2012.4.5. 大阪京町堀ライブハウス《Chuve Chuva》における東京大学のベネズエラ音楽合奏団によるライブ・コンサート.
- 講演. ベネズエラの音楽. 2012.4.7. 宇部音楽鑑賞協会主催による招待講演. 山口県福音ルーテル教会・宇部教会.
- 講演. ベネズエラの音楽. 2012.4.8. 宍粟労音主催による招待講演. 兵庫県宍粟市山崎文化会館.
- 講演. ベネズエラの音楽. 川越音楽鑑賞協会主催. 2012.6.9. 埼玉県川越市川越音楽鑑賞協会本



部。

- レクチャーコンサート企画, 運営, 司会, 通訳. トーク & ライブ「弦の響き、宴の輪」巨匠チェオ・ウルタード ベネズエラ音楽を語る. 2012.6.30. 東大駒場キャンパス 18 号館ホール.
- コンサート企画, A&R マネジメント, 司会, 通訳. チェオ・ウルタード《アンサンブル・トラディショナル・ベネズエラ》日本ツアー. かがしま県民交流センター (主催労音鹿児島センター), 2012.6.27. 佐賀県立美術館ホール (主催佐賀労音), 2012.6.29. 川越市民会館 (主催川越音楽鑑賞協会), 2012.7.1. 亀戸・カメラホール (主催東京労音), 2012.7.3. アミューたちかわ (主催労音府中センター), 2012.7.4. 所沢市民文化センター (主催所沢労音), 2012.7.5. 宍粟市山崎文化会館 (主催宍粟労音), 2012.7.7. 姫路市文化センター (主催姫路労音), 2012.7.8. 函館市民会館大ホール (主催はこだて音楽鑑賞協会), 2012.7.11. 宇部市文化会館 (主催宇部音楽鑑賞協会), 2012.7.13. 北九州市立戸畑市民会館 (主催北九州労音), 2012.7.15.
- コンサート企画, 運営, 司会, 講演, 演奏. 全学体験ゼミナール・ラテンアメリカ音楽演奏入門 成果発表コンサート. 2012.8.4. 東京大学駒場キャンパス 18 号館ホール.
- 講演. 「実演で知るベネズエラの音楽文化」. 第 40 回イスパニア会招待講演. 2012.12.8. 東京外国語大学本郷サテライト.
- 講演. ベネズエラのクリスマス～カーニバルの音楽文化. 第 43 回現代のラテンアメリカ. 2012.12.15. 立教大学太刀川記念ホール (主催立教大学ラテンアメリカ研究所).

#### 遠藤泰生 (ENDO Yasuo)

##### D. 一般学術論文

- 遠藤泰生. 書評: 相対化と新しい総合: 有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎 (編). 『アメリカ史研究入門』. 『アメリカ太平洋研究』. 12. pp 149-158. アメリカ太平洋地域研究センター. 2012.

##### F. その他の業績

- 遠藤泰生. エッセイ. 覚悟の人: 古矢旬先生を送る. 『教養学部報』. 544. pp 6-6. 2012.
- 遠藤泰生. エッセイ. 古矢先生とアメリカ研究. 『CPAS Newsletter』. 12.2. pp 2-3. 2012.
- 遠藤泰生. シンポジウム主旨説明. 移民・難民・市民権: 環太平洋地域における国際移民: 特集にあたって. 『アメリカ太平洋研究』. 12. pp 5-8. アメリカ太平洋地域研究センター. 2012.
- 遠藤泰生. プロジェクト報告. 基盤研究 (A) 19 世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究 / 1. 『CPAS Newsletter』. 12.2. pp 12-12. 2012.
- 遠藤泰生. プログラム紹介. グローバル共生プログラム (GHP). 『教養学部報』. 546. pp 6-6. 2012.
- 遠藤泰生. センター紹介. アメリカ太平洋地域研究センター. 『教養学部報』. 546. pp 10-10. 2012.
- 遠藤泰生. 学会報告. ANZASA (Australian New Zealand American Studies Association) におけるアメリカ研究. 『CPAS Newsletter』. 13.1. pp 2-4. 2012.

- 遠藤泰生, プロジェクト報告, 基盤研究 (A) 19 世紀前半のアメリカ合衆国における市民編成原理の研究 / 2, 『CPAS Newsletter』, 13.1, pp 9–10, 2012.

#### G. 国際学会

- Lecture. University of the South Pacific, School of Social Sciences. University of the South Pacific, School of Social Sciences (Suva, Fiji). 2012.3.15. 招待講演. Conflict and Coexistence: the vision of the Pacific Ocean among the Japanese from the early 17th century to the mid-20th century. 英語.
- ANZASA (Australian New Zealand American Studies Association) 2012 Biennial Conference. ANZASA. University of Queensland, Brisbane, Australia. 2012.7.6. 招待講演. Seeking New Directions of American Studies in the 21st Century. 英語.

#### H. 国内学会

- シンポジウム「移動とネットワークから地域文化研究を考える」, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール, 2012.10.27, コメンテーター.
- アメリカ史学研究の現在を考える, 日本アメリカ史学会, 東京大学総合文化研究科 18 号館, 2012.12.4. 報告, アメリカ史学研究の現在を考える: 地域研究の視点から.

#### J. 受賞

- 平成 23 年度特別研究員等審査会専門員表彰 (日本学術振興会), 平成 23 (2011) 年度.

### 小川浩之 (OGAWA Hiroyuki)

#### A. 著書

- 小川浩之, 『英連邦——王冠への忠誠と自由な連合』, p 319, 中央公論新社, 2012.

#### B. 分担執筆

- 小川浩之, イギリス, 森井裕一 (編), 『ヨーロッパの政治経済・入門』, p 318, pp 55–75, 有斐閣, 2012.

#### F. その他の業績

- 小川浩之, 書評, Daisuke Ikemoto, *European Monetary Integration 1970–79: British and French Experiences*, 東京財団政治外交検証プロジェクト, <http://www.tkfd.or.jp/research/project/news.php?id=1059>, 2012.

#### H. 国内学会

- 世界政治研究会例会, 世界政治研究会, 東京大学本郷キャンパス, 2012.5.18, 川嶋周一報告「『幻のヨーロッパ』?: 欧州政治共同体再考 1952–1954」, コメンテーター.
- 世界政治研究会例会, 世界政治研究会, 東京大学本郷キャンパス, 2012.7.7, 芝崎祐典報告「スエズ戦争以後のイギリスの中東政策 試論」, コメンテーター.
- 「EU とアジア」研究会, EU Studies Institute (EUSI), 慶應義塾大学, 2012.10.12, 一般発表, 英連邦と「帝国後」の模索.
- 日本国際政治学会 2012 年度研究大会, 日本国際政治学会, 名古屋国際会議場, 2012.10.19–

10.21. 部会 14 (脱植民地化・冷戦・同盟) 討論者.

- 政治外交検証研究会. 東京財団. 東京財団. 2012.10.30. 一般発表. 書評報告. Daisuke Ikemoto, *European Monetary Integration 1970–79: British and French Experiences* (Basingstoke: Palgrave Macmillan, 2011).
- GRIPS 勉強会. 政策研究大学院大学. 政策研究大学院大学. 2012.11.30. 一般発表. 「旧コモンウェルス」から「新コモンウェルス」へ——第二次世界大戦後の拡大と制度変化、1945–81年.

#### 川口悠子 (KAWAGUCHI Yuko)

##### D. 一般学術論文

- Kawaguchi, Y. Hiroshima y la ocupación: Reflexión sobre los movimientos pro víctimas de la bomba atómica. *ISTOR*. 51. pp 91–114. 2012.

#### 木宮正史 (KIMIYA Tadashi)

##### A. 著書

- 木宮正史. 『国際政治のなかの韓国現代史』. p 216. 山川出版社. 2012.

##### B. 分担執筆

- 木宮正史. 12 米軍政と大邱の反軍政運動 (一九四六年), 50 朝鮮戦争 (一九五〇–五三年), 89 韓国の四月革命 (一九六〇年), 145 ベトナム戦争 (北爆) と韓国・日本・米国 (一九六五年), 175 韓国における光州蜂起と軍政の継続 (一九八〇年), 215 韓国民衆闘争の展開と民主化 (一九八七年). 歴史学研究会 (編). 『世界史史料 11 二〇世紀の世界 II 第二次世界大戦後冷戦と開発』. p 406. pp 22–23, pp 90–92, pp 158–159, pp 255–256, pp 303–305, pp 374–375. 岩波書店. 2012.
- Kimiya, T. South Korea-Japan Relations in the “East Asian Community”. Ikenberry, J., Yamamoto, Y., Haba, K. (eds). *Regional Integration and Institutionalization: comparing Asia and Europe*. p 284. pp 127–138. Shoukadoh Publishers. 2012.

##### C. レフリー付き学術論文

- 기미야다다시. 일본의 한국연구의 전개와 현상: 새로운 가능성의 모색 (日本の韓国研究の展開と現状: 新たな可能性の模索). 『일본공간 (日本空間)』. 11. pp 194–221. 韓国国民大学校日本学研究所. 2012.

##### D. 一般学術論文

- 기미야다다시. 기로에 선 한일관계: 마찰을 넘어 ‘진화’ 를 향해 (岐路に立つ韓日関係: 摩擦を超え「進化」に向けて). 『일본공간 (日本空間)』. 12. pp 87–100. 韓国国民大学校日本学研究所. 2012.
- 木宮正史. 思考の環: 日本の現代韓国研究をめぐる断想. 『東京大学大学院情報学環紀要 情報学研究』. 83. pp i–iv. 東京大学大学院情報学環. 2012.

- 木宮正史. 日韓関係の歴史的構造的変容と米中 G2 時代における含意. 『第 2 回東北アジア共同体論壇 韓中日関係の歴史的省察と新たな地域協力秩序の模索』, pp 211-235, pp 237-264. 韓国高麗大学アジア問題研究所 HK 事業団・韓国東北アジア歴史財団・東京大学現代韓国研究センター・日本学術振興会東アジア現代史研究チーム, 2012.
- 木宮正史. 岐路に立つ日韓関係: 摩擦を超えた「進化」に向けて. 『ニッポンドットコム』, <http://www.nippon.com/ja/in-depth/a01301/>, 2012. 日本語、英語、中国語、スペイン語.
- Kimiya, T. Peaceful Transformation of the Northeast Asia: In Search of Accommodating China to the South Korea's Initiated Reunification Based on the Balanced Korea-Japan Relations. *Configuration of Peacelessness on the Korean Peninsula: Dialogue between Humanities and Social Science*. p 152. pp 47-68. Peace and Humanities Research Group, Institute for Peace and Unification Studies, Seoul National University. 2012.

#### F. その他の業績

- 木宮正史. 論説空間 ポスト金正日体制の行方と朝鮮半島 「同床異夢」でも 6 者協議の枠組み生かす. 『東京大学新聞』, 2012 年 1 月 17 日号.
- 기미야다다시. 영토 문제 부각 땀 양국 내셔널리즘 자극… 확대 안 하는게 낫다” [고려대 아세아문제연구소 주최 좌담회] 韓日 갈등의 해법 무엇인가 (領土問題が浮き彫りにされると両国ナショナリズムを刺激、拡大させないことがよい [高麗大学アジア問題研究所主催座談会] 韓日葛藤の解法は何か). 『韓国日報』, 2012.9.14.
- 木宮正史. 李明博韓国大統領竹島訪問・天皇訪韓発言に関するインタビュー・談話. 『朝日新聞』, 2012.8.10, 『朝鮮日報』, 8.11, 『聯合ニュース』, 8.11, 『ハンギョレ新聞』, 8.13, 『中央日報』, 8.14, 『日本経済新聞』, 8.16, 『京郷新聞』, 8.16, 『韓国日報』, 8.17, 『東亜日報』, 8.17, 『女性自身』, 9.4, 10.2, 『週刊プレイボーイ』, 43 号, 10.22.
- 기미야다다시. 「해의시론: 동북아 질서 재편에서 소외되는 韓・日 (海外時論: 東北アジア秩序再編から疎外される韓日)」, 『朝鮮日報』, 2012.7.14.
- 木宮正史. 項目執筆. デジタルイミダス 2012 <http://imidas.jp>. 李明博政権, ハンナラ党, 統合民主党, 民主労働, 米韓 FTA, 李明博政権の対北朝鮮政策, 6 者協議, 金正日政権, 米朝交渉, 朝鮮労働党, 哨戒艦「天安」沈没事件, 延坪島砲撃事件, 「戦時」作戦統制権. 綜合社出版部, 2012.
- 기미야다다시. 해의시론: 韓・日 “제 3 세력” 의 차이 (海外時論: 韓日 “第三極” の違い). 『朝鮮日報』, 2012.11.6.
- 기미야다다시. 내가 보는 대선 9 미일 전문가: 한일 과거사 뛰어 넘어 “어깨동무” 하자 (私が見た大統領選挙 9 日米専門家: 日韓の過去史を超えて連帯しよう). 『東亜日報』, 2012.12.15.
- 木宮正史. 接戦で保守票掘り起し. 『毎日新聞』, 2012.12.20.
- 기미야다다시. 美・中・日 한국통 “朴당선인, 이것만은 …” 대북·경제협력역사와 분리를 (米中日韓国通朴当選者、これだけは、対北朝鮮経済協力は歴史と分離して). 『毎日経済新聞』.

2012.12.20.

- 기미야다다시, 〈박근혜 당선 해외시각〉“한일관계 리더십 발휘하길”(朴槿惠当選 海外の視角「日韓関係リーダーシップの発揮を望む」), 『聯合ニュース』, 2012.12.20.

#### G. 国際学会

- 韓国の日本研究・日本の韓国研究 現状と新たな模索, 韓国国民大学日本学研究所, 国民大学(ソウル), 2012.3.16, 招待発表, 日本の韓国研究の展開と現状: 新たな可能性の模索, 日本語及び韓国語.
- 第2回東北アジア共同体フォーラム 韓中日関係の歴史的省察と新たな地域協力秩序の模索, 韓国高麗大学アジア問題研究所 HK 事業団・韓国東北アジア歴史財団・東京大学現代韓国研究センター・日本学術振興会東アジア現代史研究チーム共催, 高麗大学(ソウル), 2012.5.25-5.26, 招待発表, 日韓関係の歴史的構造的変容と米中G2時代における含意, 日本語及び韓国語.
- 金俊燁先生逝去1周年記念国際学術セミナー 金俊燁と中国: 韓国の中国学、中国の韓国学, 財団法人社会科学院・高麗大学校亜細亜問題研究所共催, 高麗大学(ソウル), 2012.6.5, 指定討論者, 韓国語.
- 第12次日韓有識者間政策対話, 世宗研究所日本研究 Center, 韓国外交通商部, 日本国外務省, 沖縄ハーバービュークラウンプラザホテル, 2012.6.7-6.8, 日本側幹事, 司会, 日韓同時通訳.
- Configuration of Peacelessness on the Korean Peninsula: Dialogue between Humanities and Social Science. Peace and Humanities Research Group, Institute for Peace and Unification Studies, Seoul National University. Seoul Plaza Hotel Diamond Hall. 2012.7.25, 招待発表, Peaceful Transformation of the Northeast Asia: In Search of Accommodating China to the South Korea's Initiated Reunification Based on the Balanced Korea-Japan Relations. 英語.
- 海外招請学者特別講演会, ソウル大学日本学研究所, ソウル大学国際大学院ホール, 2012.9.5, 招待講演, 일본의 대 한반도 외교의 전개(日本の対朝鮮半島外交の展開), 韓国語.
- 한일관계를 되묻는다: 해방인가 문리인가 가지무라 헤에키와 한반도(韓日関係を問い直す: 解放か分離か/梶村秀樹と韓半島), 高麗大学アジア問題研究所, 高麗大学アジア問題研究所大会議室, 2012.9.13, 討論者, 日本語.
- Searching for the Future-Oriented Harmony of National Identities: The Political Economy of Economic and Cultural Cooperation and Comprehensive Security. Main Conference Hall, Asiatic Research Institute, Korea University. 2012.9.14-9.15, 一般発表, 戦後日本の対朝鮮半島外交の展開: 地政学、脱植民地化、冷戦体制、経済協力, 日本語.

#### H. 国内学会

- 現代韓国文化のアジア的還流と地域アイデンティティの可能性, 東京大学大学院情報学環現代韓国研究センター, 東京大学本郷キャンパス福武ホール, 2012.3.17, 企画責任者および司会.
- NEASE-Net 第22回政策セミナー, 北東アジア研究者交流ネットワーク, 早稲田大学早稲田キャンパス19号館3F315教室, 2012.5.12, 招待講演, 韓国政治外交の現状と展望.

- 情報行動の日韓比較。東京大学現代韓国研究センター。東京大学大学院情報学環会議室。2012.7.31。討論者。
- 公開シンポジウム「新指導者の朝鮮半島——李明博政権の総括と大統領選挙後の展望」。現代韓国朝鮮学会。早稲田大学西早稲田キャンパス。2012.11.11。司会、討論者。
- 日本経団連 21 世紀政策研究所北東アジア研究会。日本経団連 21 世紀政策研究所。日本経団連会館。2012.11.16。招待講演。日韓関係の現状をどう考えるのか：2012 年夏の一連の事態を参考に。
- 日本大学国際関係学部学際研究会。日本大学国際関係学部。日本大学国際関係学部（三島）。2012.11.22。招待講演。日本の対朝鮮半島外交をどう構想するのか。
- 在日コリアンの現在・未来。東京大学現代韓国研究センター・韓国東北アジア歴史財団。東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール。2012.11.27。討論者。

#### I. その他の研究活動

- TBS ラジオ。ニュース探究ラジオ Dig 特集：韓国大統領選挙のゲスト。2012.7.16。
- TBS ラジオ。ニュース探究ラジオ Dig 特集：李明博大統領竹島上陸のゲスト。2012.8.16。
- NHK WEB24。李明博大統領竹島訪問に伴う日韓関係に関するゲスト。2012.8.24。
- NHK ニュース 9。日朝協議再開に関する解説インタビュー。2012.8.29。
- NHK 日曜討論。尖閣・竹島 どうする東アジア外交 日中、日韓の今後は？ 日米関係は？。2012.9.30。
- TBS ラジオ。ニュース探究ラジオ Dig 特集：韓国大統領選挙のゲスト。2012.11.15。
- NHK ラジオ。NHK ジャーナル。韓国大統領選挙についてのインタビュー。2012.11.19。
- NHK BS1。ワールドウェーブモーニング。特集韓国大統領選挙に関する解説。2012.12.3。
- フジテレビニュースジャパン。韓国大統領選挙に関する解説。2012.12.19。
- TBS ラジオ。荒川強啓ダイキャッチ 韓国大統領選挙と日韓関係に関する電話インタビュー。2012.12.20。
- NHK ラジオジャーナル。韓国大統領選挙に関する解説（電話インタビュー）。2012.12.20。

#### 日下元及 (KUSAKA Motochika)

##### G. 国際学会

- 38th Annual International Conference on Language Teaching and Learning & Educational Materials. JALT. 浜松市, ACT City. 2012.10.12-10.15。一般発表。Silence in class can be golden. 英語。

#### 黒住 真 (KUROZUMI Makoto)

##### H. 国内学会

- キリスト教文化研究所第 40 回連続講演会「日本カトリシズムの再生」。上智大学キリスト教文化研究所。上智大学。2012.6.16。招待講演。近代日本における哲学・キリスト教と岩下壮一。

- 日本倫理学会・ワークショップ「科学技術文明史と倫理」、日本倫理学会、日本女子大学、2012.10.12. 発表、自然的な様相における人間の営みとは——地震・津波・原発を振り返った歴史からみる。
- シンポジウム『宗教における言語と存在——将来世代の共生に向けて』、東京大学宗教学宗教史学研究室・上智大学共生学研究会、東京大学本郷キャンパス法文一号館113室、2012.11.24. 発表、近代日本哲学史と神——西田幾多郎・岩下壮一とその前後から現代を考える。
- 共同研究『心身／身心と環境の哲学：東アジア伝統的概念の再検討とその普遍化の試み』、国際日本文化研究センター、国際日本文化研究センター（京都）、2012.12.8. 発表、朱子学的思想文化の諸地域での在り方と変容史いくつか。

#### F. その他の業績

- 黒住真、エッセイ、歴史の流れにおける「たばこ」と日本文化、『TASC』、12、pp 6–11、2012。
- 黒住真、書評、二十一世紀の文化形態の方向を目指して、加藤敏編著『レジリアンス・文化・創造』、『図書新聞』、3083、pp 1–1、2012.10.27。

### 斎藤文子 (SAITOU Ayako)

#### F. その他の業績

- 斎藤文子、コラム、新世紀世界文学ナビ アルベルト・ルイ＝サンチェス、『毎日新聞』、pp 17–17、2012.7.16。
- 斎藤文子、書評、José R. Cartagena Calderón. *Masculinidades en obras: El drama de la hombría en la España imperial*. 『日本イスパニヤ学会会報』、19、pp 20–21、2012。

#### I. その他の研究活動

- Saitou, A. 本の紹介、Silvia Novelo. *Sobre Universalismo vs. Nacionalismo en la dialéctica cultural mexicana. José Juan Tablada, un ciudadano del mundo de la Dra.* Espacio Mexicano, Embajada de México, Tokio. 2012.8.6. スペイン語。

### 佐藤安信 (SATO Yasunobu)

#### F. その他の業績

- 佐藤安信、寄附講座難民移民によるCDRの英文ジャーナルCDRQ 4 (Jan 2012), 5 (May 2012)の発行、[http://cdr.c.u-tokyo.ac.jp/database.php?s1=""&s2=header\\_highlight&s3=""&s4=""&s5="](http://cdr.c.u-tokyo.ac.jp/database.php?s1=)、2012。

#### G. 国際学会

- The Thirty's International Symposium on Economic Crimes. Jesus College, University of Cambridge. 2012.9.8. 招待講演。Moral Hazard and Weak Governance in Nuclear Industry: Nuclear Accident Made in Japan.
- The International Workshop on Access to International Justice. The Institute for Ethics, Governance and Law (IEGL) Bond University (Queensland, Australia). 2012.10.22–10.23. 招待講演。Nuclear Power

and Human Security: Lessons from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant's Accident.

- The Plenary Session of 2012 Joint ANZSIL (Australia and New Zealand Society of International Law) and Asian SIL (Asian Society of International Law) Conference. ANZSIL & Asian SIL New South Wales University. 2012.10.25–10.26. 招待講演. Access to Justice for Human Security in Nuclear Age: Lessons from Fukushima, Japan.

#### H. 国内学会

- 国際法協会日本支部 2012 年研究大会「国連活動の展開と課題」, 東京大学本郷キャンパス, 2012.4.21. 報告, 「人間の安全保障」のための「企業平和責任」: 国連グローバル・コンパクトの可能性と限界.
- 「人間の安全保障」学会の分科会「Refugees and Human Security」, 愛知大学, 2012.9.29. コメント.

#### I. その他の研究活動

- 佐藤安信, 「人間の安全保障」プログラム (HSP) ・グローバル地域研究機構持続的平和研究センター長としての研究活動、たとえば HSP シンポジウム: 国内避難民の保護に関する国際基準: 東日本大震災の被災者・避難者への適用. (<http://hsp.c.u-tokyo.ac.jp/symposia.html#2012s>)
- 「人間の安全保障学会」の運営に当たる「人間の安全保障」コンソーシアム理事として年間の研究会の企画運営.
- グローバル地域研究機構持続的平和研究センター、寄附講座難民移民 (法学館) の調査研究. (<http://cdr.c.u-tokyo.ac.jp/>)

#### 代田智明 (SHIROTA Tomoharu)

#### F. その他の業績

- 代田智明, 論評, 癒やしの文学としての鲁迅, 『中国研究月報』, 2012 年 1 月号, pp 35–40.
- 代田智明, 論評, 蛸壺のなかのまどろみ, 『中国研究月報』, 2012 年 5 月号, pp 34–37.
- 代田智明, 書評, 長堀祐造『鲁迅とトロツキー——中国における「文学と革命」』, 『中国研究月報』, 2012 年 8 月号, pp 40–44.
- 代田智明, 特集コメント, 私たちの想像力は「韃靼海峡」を渡っていけるのか, 『中国研究月報』, 2012 年 11 月号, pp 49–50.

#### G. 国際学会

- 国際学会『漢学と当今世界』, 世界漢学会議, 中国人民大学 (北京), 2012.11.3–11.4. 主題報告, 關於現代化与中国, 中国語.

#### H. 国内学会

- 学習院女子大学コロキウム「ゆらぐ〈境界〉——戦時期東アジアと日本」, 学習院女子大学, 学習院女子大学, 2012.7.30. コメンテーター.
- 日本現代中国学会第 62 回全国大会, 日本現代中国学会, 一橋大学, 2012.10.21. 文学 (2) 分科



会座長。

## 菅 豊 (SUGA Yutaka)

### A. 著書

- 岩本通弥, 菅豊, 中村淳 (共編著). 『民俗学の可能性を拓く——「野の学問」とアカデミズム』, p 269. 青弓社, 2012.
- 福田アジオ, 菅豊, 塚原伸治 (共著). 『「二〇世紀民俗学」を乗り越える——私たちは福田アジオとの討論から何を学ぶか』, p 187. 岩田書院, 2012.

### B. 分担執筆

- 菅豊. 反・供養論——動物を「殺す」ことは罪か?. 秋道智彌 (編). 『日本の環境思想の基層』, p 320. pp 225-248. 岩波書店, 2012.
- 菅豊. グローバル時代を生きる錦鯉——日本文化の拡散と脱国籍化、現地化——. 松井健, 野林厚志, 名和克郎 (編). 『生業と生産の社会的布置——グローバリゼーションの民俗誌のために——』, p 418. pp 269-298. 岩田書院, 2012.
- 菅豊. 日本のコモンズ——生活の安全保障の視点から——. 柳澤悠, 栗田禎子 (編). 『持続可能な福祉社会へ: 公共性の視座から 第4巻アジア・中東——共同体・環境・現代の貧困』, p 292. pp 13-35. 勁草書房, 2012.
- 菅豊. 公共民俗学の可能性. 岩本通弥, 菅豊, 中村淳 (編). 『民俗学の可能性を拓く——「野の学問」とアカデミズム』, p 272. pp 83-140. 青弓社, 2012.

### C. レフリー付き学術論文

- 菅豊. 日本節日文化的現代形態——以日本都市的元旦文化改編為題材. 『温州大学学报』, 25.4, pp 3-9. 温州大学, 2012.

### D. 一般学術論文

- 菅豊. 民俗学の悲劇——アカデミック民俗学の世界史的展望から——. 『東洋文化』, 93, pp 3-53. 東京大学東洋文化研究所, 2012.
- 菅豊. 民俗学の喜劇——「新しい野の学問」世界に向けて——. 『東洋文化』, 93, pp 219-243. 東京大学東洋文化研究所, 2012.

### G. 国際学会

- 2012年中国藝術人類学会年会. 中国藝術人類学会. 中国・フフホト市, 2012.7.20. 一般発表. 奇美拉(喀迈拉、嵌合体、chimera)化的古镇文化——以民間工藝的地方性展開為中心——. 日本語.
- American Folklore Society 2012 Annual Meeting. American Folklore Society. New Orleans, Louisiana, USA. 2012.10.27. 一般発表. Into the Bullring: The Significance of “Empathy”. 英語.

### H. 国内学会

- 第 863 回日本民俗学会談話会・国際交流関係シンポジウム. 日本民俗学会. 東京, 2012.7.8. 発

表・コーディネーター、アメリカ民俗学の日本研究のアウトライン。

### 杉田英明 (SUGITA Hideaki)

#### A. 著書

- 杉田英明、『アラビアン・ナイトと日本人』。p 1016。岩波書店。2012。

### 杉山清彦 (SUGIYAMA Kiyohiko)

#### B. 分担執筆

- 杉山清彦、イリ地域をめぐる帝国の興亡と国境の誕生——ユーラシアの中心から辺境へ——。窪田順平(監修)、承志(編)、『国境の出現』(中央ユーラシア環境史第2巻)。p 268。pp 6–59。臨川書店。2012。

#### D. 一般学術論文

- 杉山清彦、清代の北京と紫禁城——武人と文人、旗人と民人——。『東京大学史料編纂所研究紀要』。22。pp 281–291。2012。

#### F. その他の業績

- 杉山清彦、書評、野田仁(著)『露清帝国とカザフ＝ハン国』。『中国研究月報』。66.12。(通号778)。pp 36–38。2012。

#### H. 国内学会

- 新学術領域研究「ユーラシア地域大国比較研究」第四班ワークショップ「ユーラシア地域帝国としての清朝研究」。北海道大学スラブ研究センター。東京大学駒場キャンパス。2012.12.16。一般発表。ユーラシアの中の大清帝国——「帝国」の支配構造——。

#### I. その他の研究活動

- 講演、明・清帝国とユーラシア——構図と構造——。佐賀県社会科部会(歴史)。佐賀市。2012.6.19。
- 講演、18世紀の東アジア世界。神奈川県社会科部会歴史分科会・高大連携の試み「18世紀のアジアをどう教えるか」。鎌倉市。2012.8.6。

### 鈴木啓二 (SUZUKI Keiji)

#### F. その他の業績

- 鈴木啓二、エッセイ、駒場の松浦寿輝。『教養学部報』。545。pp 7–7。2012。

### 高橋英海 (TAKAHASHI Hidemi)

#### B. 分担執筆

- Takahashi, H. Also via Istanbul to New Haven: Mss. Yale Syriac 7–12. D. Reisman & F. Opwis (eds.). *Islamic Philosophy, Science, Culture and Religion: Studies in Honor of Dimitri Gutas* (IPTS 83). p 476. pp 157–176. Leiden: Brill. 2012.

- 高橋英海. シリア正教会 基礎データ, シリア正教会について, シリア・カトリック教会 基礎データ, シリア・カトリック教会について, アッシリア東方教会 基礎データ, アッシリア東方教会について, カルデア・カトリック教会 基礎データ, カルデア・カトリック教会について. 三代川寛子 (編) 『東方キリスト教諸教会: 基礎データと研究案内』. p 182. pp 44-44, pp 45-52, pp 68-68, pp 69-72, pp 90-90, pp 91-97, pp 98-98, pp 99-103. 上智大学アジア文化研究所 イスラーム研究機構. 2012.
- Takahashi, H. Barhebraeus. A. Casiday (ed.). *The Orthodox Christian World*. p 586. pp 279-286. Routledge. 2012.
- Takahashi, H. 11.3. Syro-Armenian, 12.2. Armeno-Syriac. G. A. Kiraz. *Ṭūrrāš Mamllā: A Grammar of Syriac Language*, vol. 1. Orthography. p 479. pp 298-304, 325-326. Piscataway: Gorgias Press. 2012.
- Takahashi, H. Edition of the Syriac Philosophical Works of Barhebraeus — With a Preliminary Report on the Edition of the Book of the Heaven and the World and the Book of Generation and Corruption of the Cream of Wisdom. A.M.I. van Oppenraay (ed.). *The Letter before the Spirit: The Importance of Text Editions for the Study of the Reception of Aristotle (Aristoteles Semitico-Latinus 22)*. p 515. pp 109-130. Leiden: Brill. 2012.

#### D. 一般学術論文

- 高橋英海. エヴァグリオスにおける祈りについて——『祈りについての一五三の断章』を中心に. 『エイコーン——東方キリスト教研究』. 42. pp 21-34. 2011 (2012.3).

#### E. 翻訳

- 高橋英海 (訳). ミラノのアンプロシウス (著). 兄の旅立ちについて (兄サテュルスのための追悼演説) 第一部. 小高毅 (監修). 『古代教会の説教』 (シリーズ・世界の説教). p 347. pp 237-277. 教文館. 2012.

#### F. その他の業績

- 高橋英海. 講演録. 中東世界における宗教の共生: イスラム世界に生きるシリア語キリスト教. 『仙台白百合女子大学カトリック研究所論集』. 16. pp 67-94. 2011 (2012.3).
- 高橋英海. 少数派キリスト教徒から見た中東情勢——学会報告にかこつけて. 『UTCMES ニューズレター』. 2. pp 9-10. 東京大学中東地域研究センター. 2012.

#### G. 国際学会

- International Syriac Studies Conference: “Syriac in Its Multi-Cultural Context”. Mardin Artuklu Üniversitesi, Yaşayan Diller Enstitüsü. Mardin Artuklu Üniversitesi (Mardin). 2012.4.20-4.22. Scientific Advisory Committee および一般発表. Armenian Garshuni (Armenian in Syriac Script) and Its Users. 英語.
- XIum Symposium Syriacum. Committee of the Symposium Syriacum and the Christian Arabic Conference. L-Università ta' Malta (Valletta). 2012.7.16-7.18. 司会および一般発表. Barhebraeus on Psychology: An Overview of His Writings on the Soul. 英語.

- SAPERE Colloquium (Ps.-Aristoteles, *De mundo*). SAPERE (Scripta Antiquitatis Posterioris ad Ethicam Religionemque pertinentia). Akademie der Wissenschaften zu Göttingen. 2012.11.9–11.10. 招待講演. Syriac and Arabic Transmission of On the Cosmos. 英語.
- Floriental 2012 Annual Meeting. Centre national de la recherche scientifique (CNRS, UMR 8167 — Orient & Méditerranée. Mondes sémitiques). Collège de France (Paris). 2012.11.12–11.14. 招待講演. Herbal Knowledge in Barhebraeus. 英語.
- Xe Table ronde de la Société d'études syriaques. Société d'études syriaques. Institut protestant de théologie. Paris. 2012.11.16–11.17. 仏語. 司会.

#### H. 国内学会

- 第20回地域文化研究専攻公開シンポジウム「移動とネットワークから地域文化研究を考える」. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール. 2012.10.27. 一般発表. 居留 (aksnoyuto) の理念と現実: シリア正教会の伝統と現状から.

#### 高橋 均 (TAKAHASHI Hitoshi)

##### F. その他の業績

- 高橋均. 項目執筆. 85. キューバのラテンアメリカ革命戦略 (1967 年), 153. 新国際経済秩序の追求 (1970 年代). 歴史学研究会 (編), 『世界史史料第 11 巻 20 世紀の世界 II 第二次世界大戦後 冷戦と開発』. p 420. pp 151–153, pp 267–268. 岩波書店. 2012.

##### H. 国内学会

- シンポジウム「移動とネットワークから地域文化研究を考える」. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻. 東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール. 2012.10.27. コメンテーター.

#### 竹村文彦 (TAKEMURA Fumihiko)

##### F. その他の業績

- 竹村文彦. 講義記録. セルバンテス作『ドン・キホーテ』の面白さと新しさ. 『地中海の誘惑』. p 45. pp 40–41. 慶應義塾大学文学部. 2012.

#### 田中 創 (TANAKA Hajime)

##### C. レフェリー付き学術論文

- 田中創. ローマ帝政後期のギリシア修辞学と法学・ラテン語教育. 『西洋史研究』. 新輯 41. pp 1–30. 東北大学西洋史研究会. 2012.

##### E. 翻訳

- テオドシウス法典研究会 (代表: 後藤篤子, 田中はメンバーとして参加). テオドシウス法典 (Codex Theodosianus) (20). 『法政史学』. 77. pp 59–72. 法政大学史学会. 2012.
- テオドシウス法典研究会 (代表: 後藤篤子, 田中はメンバーとして参加). テオドシウス法典

(Codex Theodosianus) (21). 『法政史学』, 78, pp 56-74. 法政大学史学会, 2012.

#### F. その他の業績

- 田中創. 解説. 古代末期. 『歴史と地理 世界史の研究』, 233, pp 39-43. 山川出版社, 2012.

#### H. 国内学会

- 日本西洋史学会第 62 回大会古代史部会. 日本西洋史学会, 明治大学 (東京), 2012.5.20. 一般発表. ローマ帝政後期のギリシア修辞学とローマ法学.

### 谷垣真理子 (TANIGAKI Mariko)

#### A. 著書

- 谷垣真理子. 『英領期香港における選挙と政治エリート形成過程』 (博士論文). p 290. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻提出, 2012.

#### B. 分担執筆

- 谷垣真理子. 香港から考える. 東京大学教養学部 (編). 『高校生のための東大授業ライブ ガクモンの宇宙』, p 286. pp 269-286. 東京大学出版社, 2011.
- 谷垣真理子. 日本の移民コミュニティの変化. 中国中山大学韓国研究所 (編). 『中国第十三届韓国学国際研討会論文集 (政治経済与外交分冊)』, p 422. pp 316-319. 中国中山大学韓国研究所, 2012.

#### G. 国際学会

- One Asia Convention Incheon 2012. 日本ワンアジア財団. 韓国仁川市ハイアットリージェンシーインチョンホテル. 2012.7.6-7.7. The roles of the fields of History & Education for the Asian Community セッションにてコメント.
- 第 13 回中国韓国学国際学術シンポジウム. 中国中山大学韓国研究所. 中国広州市三寓賓館. 2012.11.7-11.8. 一般報告. 日本の移民系コミュニティの変化. 中国語.

#### H. 国内学会

- 2012 年度アジア政経学会全国大会. アジア政経学会. 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス. 2012.10.13-10.14. 国際シンポジウム (What does '1972' mean to the Sino-Japanese relations?) の企画責任者.
- ネットワークから考える——第 20 回地域文化研究専攻シンポジウム. 東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻. 東京大学駒場 I キャンパス 18 号館ホール. 2012.10.27. 口頭発表. 広東閩元昌一族のリユニオン活動: ネットワークの維持と発展.
- 第 1 回日本華南学会研究大会. 日本華南学会. 東京大学駒場キャンパス. 2012.12.15. 大会実行委員長.

#### I. その他の研究活動

- 台湾総統選挙および立法院選挙についてのフィールド調査. 2012.1.13-1.14.
- 香港における返還記念日 (7 月 1 日) についてのフィールド調査. 2012.6.30-7.2.

- 関元昌一族のシンガポールリユニオンについてのフィールド調査, 2012.8.3-8.9.
- 香港立法会選挙についてのフィールド調査, 2012.9.8-9.10.

#### 田原史起 (TAHARA Fumiki)

##### A. 著書

- 田原史起, 『日本視野中的中国農村精英: 関係、団結、三農政治』, p 247. 山東人民出版社, 2012.

##### C. レフェリー付き学術論文

- 田原史起, 「地域を突き抜ける」地域研究——コミュニティの可能性, 『地域研究』, 12.2, pp 131-148. 地域研究コンソーシアム, 2012.

##### D. 一般学術論文

- 田原史起, 胡錦濤政権期の「三農」政策, 『東京財団 HP』 (<http://www.tkfd.or.jp/research/project/news.php?id=1035>), 2012.

##### F. その他の業績

- 田原史起, コメント, 中国 18 全大会を受けて——農村政策の領域に関して, 『東京財団 HP』 (<http://www.tkfd.or.jp/research/project/sub1.php?id=381>), 2012.

##### G. 国際学会

- 田原史起, 第十五期“高原講壇”, 華中師範大学中国農村研究院, 武漢, 2012.6.4. 招待講演, “原子化”与“過疎化”: 城郷関係の中日比較, 中国語.
- Seventh International Symposium of Comparative Research on Major Regional Powers in Eurasia, From Empire to Regional Power, between State and Non-state. Slavic Research Center, Hokkaido University, 2012.7.6. 一般発表, Competitive Client, Faithful Agent, or Lonely Principal? The Political Implications of Village Leadership in India, Russia and China. 英語.

##### I. その他の研究活動

- 田原史起, エッセイ, 放浪の魅力に憑かれて——坂口安吾『暗い青春・魔の退屈』, 『東京大学新聞』, 3695, 2012.6.12.

#### 筒井賢治 (TSUTSUI Kenji)

##### D. レフェリー付き学術論文

- 筒井賢治, アテナゴラスにおける「オルフェウス教」伝承, 『西洋古典学研究』, LX, pp 99-110, pp 189-190 (英文サマリー), 日本西洋古典学会, 2012.

##### I. その他の研究活動

- 「新約正典から正典後文書へ——文学類型をめぐる試論」, 日本聖書学研究所公開講座における講演, 日本聖書神学校 (東京都新宿区), 2012.11.10.

## 外村 大 (TONOMURA Masaru)

### A. 著書

- 外村大, 『朝鮮人強制連行』, p 250, 岩波書店, 2012.

### G. 国際学会

- 復帰40年沖縄国際シンポジウムこれまでの沖縄学、これからの沖縄学(パネル31 記憶と空間: 「技術導入事業」にみる戦後沖台・沖韓関係), 沖縄文化協会, 東京都・早稲田大学西早稲田キャンパス国際会議場, 2012.3.30, 一般発表, 1970年代半ばの沖縄への韓国人労働者導入, 日本語.
- 韓日歴史教科書と東アジア, 東北アジア歴史財団, 韓国ソウル市・東北アジア歴史財団, 2012.6.9, 一般発表, 「人の移動」をめぐる教科書記述について, 日本語.
- 列島の中のアリラン開催記念シンポジウム, 東北アジア歴史財団, 韓国ソウル市・ソウル市歴史博物館, 2012.8.10, 講演, 私たちの歴史の見直し——在日コリアンの歴史特別展によせて, 日本語.
- 在日コリアンの現在と未来, 東京大学現代韓国研究センター, 東京都・東京大学駒場キャンパス, 2012.11.27, 司会.
- 日本のナショナリズムと在日朝鮮人, 東国大学日本学研究所, 韓国ソウル市・東国大学, 2012.12.15, 一般発表, 日本の保守系政治勢力の在日朝鮮人認識, 朝鮮語.

### H. 国内学会

- 第5回強制動員真相究明全国研究集会, 強制動員真相究明ネットワーク, 東京都・東京大学駒場キャンパス, 2012.4.7, 招待講演, 政策と法から見た朝鮮人被動員者.
- 「帝国共同体」——帝国の周縁に生きる人びと, 現代史研究会, 東京都・明治大学駿河台校舎, 2012.10.14, 一般発表, 戦時労働力動員をめぐる日本帝国の本国・植民地関係.
- 「エスニシティ」と歴史学, 財団法人史学会, 東京都・東京大学本郷キャンパス, 2012.11.10, 一般発表, 戦後日本における「在日朝鮮人論」——多民族社会化の合意を阻んだもの.

### I. その他の研究活動

- 平成24年度長野市民教養講座, 近代日本の動揺——伊藤博文から東條英機まで, 長野市民教養講座運営委員会, ホテルメトロポリタン長野, 2012.12.6, 講演, 第二次世界大戦における労働力動員と民衆の生活.

## 中井和夫 (NAKAI Kazuo)

### 中尾まさみ (NAKAO Masami)

#### B. 分担執筆

- 中尾まさみ, 眩惑する言葉——現代詩の実験を楽しむ, 東京大学教養学部(編), 『ガクモンの宇宙』, p 286, pp 29-49, 東京大学出版会, 2012.

## G. 国際学会

- The 53rd International Yeats Summer School. The Yeats Society. スライゴ市(アイルランド). 2012.8.2. 招待講演. *The Wild Swans at Coole and the Ireland of its Time*. 英語.

## I. その他の研究活動

- 「トリニティ・カレッジ・ダブリン=東京大学学術協定締結記念 W. B. イェイツとアイルランド」展. 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館. 2012.5.12-2012.7.1. 企画, 監修.

## 長沢栄治 (NAGASAWA Eiji)

### A. 著書

- 長沢栄治. 『アラブ革命の遺産 エジプトのユダヤ系マルクス主義者とシオニズム』. p 606. 平凡社. 2012.
- 長沢栄治. 『エジプト革命 アラブ世界変動の行方』. p 262. 平凡社. 2012.

### B. 分担執筆

- 長沢栄治. 門戸開放期エジプトの国家と社会. 柳沢悠・栗田禎子(共編). 『持続可能な福祉社会へ: 公共性の視座から(第四巻アジア・中東)』. p 292. pp 239-268. 勁草書房. 2012.
- 長沢栄治. 生命の絆を結ぶ大河——ナイル川. 鈴木恵美(編). 『現代エジプトを知る 60章』. p 385. pp 34-37. 明石書店. 2012.
- 長沢栄治. 2つのナショナリズム——ワタニーヤとカウミーヤ. 鈴木恵美(編). 『現代エジプトを知る 60章』. p 385. pp 88-91. 明石書店. 2012.
- 長沢栄治. 革命を引き継ぐ者たち——民衆蜂起を支える学生運動. 鈴木恵美(編). 『現代エジプトを知る 60章』. p 385. pp 130-134. 明石書店. 2012.

### D. 一般学術論文

- 長沢栄治. アラブ革命の構想力——グローバル化と社会運動. 『歴史学研究』増刊号 898. pp 12-20. 2012.10.

### F. その他の業績

- 長沢栄治. エッセイ. 大統領選後のエジプト. 『学会報』. 897. pp 27-31. 2012.11.

## 西川杉子 (NISHIKAWA Sugiko)

### G. 国際学会

- 国際シンポジウム「ヨーロッパ・地中海世界における諸宗教の相剋と融和」(Religious Conflict, Religious Concord in Europe and the Mediterranean World). ヨーロッパ・地中海世界における異宗教・異宗派間の相剋と融和をめぐる比較史研究(科学研究費補助金・基盤研究A). 東京大学(東京・駒場). 2012.10.21-10.22. 一般発表. 'When in Rome...': religious practice by Anglicans on the Continent in the 17th and early 18th centuries. 英語.



- 国際シンポジウム 1713–2013: The Peace of Utrecht Revisited: Historiographical Debate and Comparative studies. Centro de Ciencias Humanas y Sociales, CSIC., Madrid (マドリッド・スペイン), 2012.7.7–7.9. 招待講演. Confessional trans-state networks in a religious cold war. 英語.

#### 西崎文子 (NISHIZAKI Fumiko)

##### B. 分担執筆

- 西崎文子. 国際連合の成立 (1945 年). 歴史学研究会 (編). 『世界史史料 11 20 世紀の世界 II 第二次世界大戦後 冷戦と開発』, p 440. pp 4–6. 岩波書店. 2012.

##### D. 一般学術論文

- 西崎文子. 転換点に立つオバマ外交——戦争「終結」後の課題. 『国際問題』, 2012.3. pp 26–35. 日本国際問題研究所. 2012.
- 西崎文子. ウッドロー・ウィルソンとメキシコ革命——「反米主義」の起源をめぐる一考察. 『思想』, 2012.12. pp 118–138. 岩波書店. 2012.

##### F. その他の業績

- 西崎文子. 項目執筆. 国際連合, 単独行動主義. 荒このみ・岡田泰男他 (編). 『アメリカを知る事典 新版』, pp 216–217, pp 368–369. 平凡社. 2012.
- 西崎文子. 識者座談会. オバマ大統領再選. 2012.11.8. 共同通信社.

#### 能登路雅子 (NOTOJI Masako)

##### F. その他の業績

- The Sasaki House: The Life History of a Tokyo Suburban Middle-class Family, 1930s to 1960s. 2012 IARU Global Summer Program. 東京大学総合文化研究科. 2012.7.24. Japan in Today's World 研修生用講演. 英語.

##### I. その他の研究活動

- 文献調査. 旧同潤会江古田分譲住宅におけるコミュニティの形成に関する調査および関連の昭和初期史料のデジタル化. 2012.
- パネル展示. 「まちの記憶 いえの記憶」(練馬区環境まちづくり公社 練馬区まちづくりセンター協力). 2012.10.7–10.13.

#### 橋川健竜 (HASHIKAWA Kenryu)

##### F. その他の業績

- 橋川健竜. 書評. 常松洋・肥後本芳男・中野耕太郎 (編). アメリカ合衆国の形成と政治文化 建国から第一次世界大戦まで (昭和堂, 2010 年). 『アメリカ太平洋研究』, 12. pp 159–165. アメリカ太平洋地域研究センター. 2012.

#### H. 国内学会

- アメリカ学会第46回年次大会初期アメリカ分科会、アメリカ学会、名古屋大学、2012.6.3、分科会幹事・司会を兼任。
- 第20回地域文化研究専攻公開シンポジウム「移動とネットワークから地域文化研究を考える」、地域文化研究専攻、東京大学、2012.10.27、組織・司会を兼任。

#### I. その他の研究活動

- 橋川健竜、文献補遺、有賀夏紀・紀平英作・油井大三郎（編）、『アメリカ史研究入門』、p.398、pp.351-351、山川出版社、第2刷2012（2009刊行の書籍の第2刷への補足）。

#### 長谷川まゆ帆 (HASEGAWA Mayuho)

##### F. その他の業績

- 長谷川まゆ帆、書評エッセイ、プラトン『ソクラテスの弁明』、東京大学出版会（編）、『ブックガイド 東大教師が新入生にすすめてきた本』、UP別冊、pp.22-22、東大出版会、2012。

##### G. 国際学会

- 東アジアと日本の“西洋史学”再考プロジェクト、Lim, Jie-hym（韓国漢陽大学教授、Director of Research Institute of Comparative History and Culture）ほか韓国の西洋史研究者8名とのWorld Historyに関する交流会、科学研究費補助金基盤研究（B）「東アジアと日本の“西洋史学”——史学史的再考」、漢陽大学（韓国）、2012.12.1、一般発表、フランス近世史研究における関係史の試み——女と男と子どもの関係史に向けて、日本語、英語。

#### H. 国内学会

- 第62回日本西洋史学会「語りのかたち——パーソナル・ナラティブの歴史学——」、日本西洋史学会、明治学院大学、2012.5.20、一般発表、オーラルとエクリの間——近世期ヨーロッパの事例から。
- 第54回日本母性衛生学会学術集会「別の時代・別の地域・別の“母性”——歴史学・人類学からみた“母性”」、日本母性衛生学会、アクロス・イヴェントホール（福岡）、2012.11.17、招待講演、近世期フランスの母性。
- 近現代インドにおける食文化とアイデンティティ研究会、科学研究費補助金基盤研究（B）「近現代インドにおける食文化とアイデンティティに関する複合的研究」、東京大学駒場Iキャンパス、2012.2.13、報告、18世紀フランスの社会と食文化の歴史——バルマンチエの著作より。
- ヨーロッパの政治と宗教のダイナミズム研究会、科学研究費補助金基盤研究（B）「ヨーロッパ史における政治と宗教のダイナミズムと国家的秩序の形成」、早稲田大学文学部、2012.10.27、報告、近世フランス農村の多数決原理とローマ法。
- 東アジアと日本の「西洋史学」再考プロジェクト、科学研究費補助金基盤研究（B）「東アジアと日本の“西洋史学”——史学史的再考」、京都大学文学部、2012.11.11、報告、日本の戦後の世界史教育について——留学生3名による山東省・香港・シンガポール・韓国についての調査報

告とともに。

#### I. その他の研究活動

- 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 研究課題名「多数決による産婆選択の慣習と王権による統合」(研究代表者:長谷川まゆ帆, 課題番号 22520735, 平成 22 年度-24 年度)の課題遂行のため, 主にフランスパリ国立図書館にて文献調査および成果となる単著の執筆, 2012.8.2-9.19.

#### 羽田 正 (HANEDA Masashi)

##### A. 著書

- 羽田正, 『東インド会社とアジアの海 (韓国語)』(李秀烈・具知瑛訳), p 357. Sunin 出版, 2012.
- 羽田正, 『“イスラーム世界“概念的形成』(劉麗嬌、朱莉麗訳), p 215. 上海古籍出版社, 2012.

##### F. その他の業績

- 羽田正, 報告要旨, 「新しい世界史」とジェンダー史, 『ジェンダー史学』8, pp 163-164, 2012.
- 羽田正, 新聞記事, 「共生の世界史」の創造へ, 『聖教新聞』, 2012.5.2.
- 羽田正, 新聞記事・インタビュー, 羽田正談新世界史構想, 『東方早報・上海書評』, 2012.7.1.

##### G. 国際学会

- UTCP International Meeting 2012 ‘ALL ENDS UP: Toward the Society of Co-existence’, 東京大学共生のための国際哲学研究センター (UTCP), 東京大学駒場 I キャンパス, 2012.1.12, キーノートスピーチ, A New World History and its Limits?
- Workshop, “Global History: Promises, Challenges and Limits”, 科研費共同研究「ユーラシアの近代と新しい世界史叙述」, 東京大学東洋文化研究所, 2012.10.6, Comments to Professor Conrad’s presentation

##### H. 国内学会

- ジェンダー史学会第 8 回シンポジウム, ジェンダー史学会, 津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス, 2012.3.4, 一般発表, 「新しい世界史」とジェンダー史.
- 日本学術会議史学委員会歴史認識・歴史教育に関する分科会・合評会, 日本学術会議, 東京大学東洋文化研究所, 2012.3.29, 『新しい世界史へ』合評会に著者として出席, コメント・質疑に答える.
- 大阪大学歴史教育研究会特別例会, 大阪大学歴史教育研究会, 大阪大学文学部本館, 2012.4.7, 招待講演, 「新しい世界史へ」という運動.
- 北海道世界史教育研究会年次大会, 北海道世界史教育研究会, 札幌大学, 2012.8.3, 招待講演, 新しい世界史へ.
- 近現代史教育研究会第 184 回例会, 近現代史教育研究会, 東京女学館高校, 2012.9.29, 招待講演, 「新しい世界史へ」という運動.
- 愛知県世界史教育研究会第 30 回記念大会, 愛知県世界史教育研究会, 名古屋経済大学サテライトキャンパス, 2012.12.26, 招待講演, 新しい世界史へとその後.

原 和之 (HARA Kazuyuki)

F. その他の業績

- 原和之, 教科書「まえがき」, Leçon 1 から Leçon 8 の本文執筆および制作監修, 原和之, 山上浩嗣, 『フランス語入門 I ('12)』, p 238, 放送大学教育振興会, 2012.

G. 国際学会

- Ve Colloque international de la Société Internationale de Psychanalyse et Philosophie. « Conflits, Limites, Reconnaissance ». The International Society of Psychoanalysis and Philosophy / La Société Internationale de Psychanalyse et Philosophie (ISPP/SIPP). Université Diego Portales (Santiago, Chili). 2012.11.6-11.9. 指定討論者 (Cláudio Oliveira, « Au-delà de la loi et de la fin: politique agambénienne et clinique psychanalytique »). フランス語.

H. 国内学会

- 日本ラカン協会第 14 回ワークショップ「フロイト＝ラカンによる『うつ』」, 日本ラカン協会, 専修大学, 2012.10.28, 組織および司会.
- 日本ラカン協会第 12 回大会シンポジウム「『哀しみ』を取り戻す——喪・メランコリー・抑うつ」, 日本ラカン協会, 専修大学, 2012.12.9, 組織および司会.

古田元夫 (FURUTA Motoo)

B. 分担執筆

- 古田元夫, ベトナム戦争の世界史的意義, メトロポリタン史学会 (編), 『20 世紀の戦争——その歴史的位相』, p 269, pp 236-256, 有志舎, 2012.

G. 国際学会

- 社会科学情報院セミナー, ベトナム社会科学院社会科学情報院, ベトナム社会科学院 (ハノイ), 2012.5.7, 招待講演, Về công trình nghiên cứu Nạn Đói Năm 1945 ở Việt Nam: Những Chứng Tích Lịch Sử (『ベトナムの 1945 年飢饉: 歴史の証拠』について), ベトナム語.
- 第 4 回ベトナム学国際シンポジウム 2012, ベトナム社会科学院・ベトナム国家大学ハノイ校, ミイデアイン国家会議センター (ハノイ), 2012.11.26-11.28, キーノートスピーチ, Một vài suy nghĩ về đặc điểm tiến trình Đói Mới ở Việt Nam (ベトナムにおけるドイモイの実施過程に関する若干の考察), ベトナム語.

J. 受賞

- ベトナム科学技術国家賞 (Giải thưởng Nhà nước Khoa học Công nghệ), *Nạn Đói Năm 1945 ở Việt Nam: Những Chứng Tích Lịch Sử* (『ベトナムの 1945 年飢饉: 歴史の証拠』の共編者), 2012.

ホーンズ, シーラ (HONES, Sheila)

G. 国際学会

- Politicised Literary Geographies. Politics-State-Space research cluster workshop. Durham University,

Department of Geography. 2012.11.16. Paper presented in absentia. Literary geographies: in the space between.

**増田一夫 (MASUDA Kazuo)**

D. 一般学術論文

- 増田一夫. ナショナル・アイデンティティとしてのライシテ: フランス、スカーフ問題の背景. 『ODYSSEUS』, 16, pp 59–83. 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 2012.

G. 国際学会

- ジャン＝ピエール・ルゴフ (Jean-Pierre Le Goff, フランス国立科学研究センター, Politique autrement (「別の仕方での政治」) 主催者) 講演会. «Mai 68 et la France d'aujourd'hui. L'héritage impossible». 科学研究費補助金・基盤 (B) 「共生の宗教へむけて——政教分離の諸相とイスラーム的視点をめぐる地域文化研究」, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 東京大学教養学部, 2012.12.17. フランス語, 組織・司会.
- ジェラルド・ブシャール (Gérard Bouchard, ケベック大学シクチミ校教授) 講演会. «L'interculturalisme: Perspectives québécoises et internationales». 科学研究費補助金・基盤 (B) 「共生の宗教へむけて——政教分離の諸相とイスラーム的視点をめぐる地域文化研究」, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 東京大学教養学部, 2012.12.14. フランス語, 組織・司会・通訳.
- Atelier de traduction. Centre d'études interdisciplinaires des faits religieux (CEIFR, 宗教事象学際研究センター), パリ, CEIFR, 2012.11.28. 報告, Traduire au Japon, フランス語.
- エティエンヌ・タッサン (Étienne Tassin, パリ第7大学教授) 講演会. «Être citoyen du monde aujourd'hui. Pour une nouvelle conception du cosmopolitisme». 科学研究費補助金・基盤 (B) 「共生の宗教へむけて——政教分離の諸相とイスラーム的視点をめぐる地域文化研究」, 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻, 東京大学教養学部, 2012.9.21. フランス語, 講演会・組織・司会.
- «Un an après la catastrophe. De Hiroshima à Fukushima». パリ第8大学, 芸術・哲学・美学学科, 2012.3.15. パリ第8大学, 招待講演, フランス語.
- «Les traduction du sensible. L'«étranger» chez Merleau-Ponty». パリ第8大学, 芸術・哲学・美学学科, 2012.3.8. パリ第8大学, 招待講演, フランス語.
- «La philosophie et son «dehors». Comment parler philosophie hors de l'«Occident»?». パリ第8大学, 芸術・哲学・美学学科, 2012.3.1. パリ第8大学, 招待講演, フランス語.

**松井 健 (MATSUI Takeshi)**

**黛 秋津 (MAYUZUMI Akitsu)**

B. 分担執筆

- 黛秋津, 一八〇二年ワラキア・モルドヴァ公宛て勅令の意義について——オスマン-両公国関係と国際政治への影響, 鈴木董編, 『オスマン帝国史の諸相——東京大学東洋文化研究所研究報告』, p 458, pp 150-173, 山川出版社, 2012.

#### D. 一般学術論文

- 黛秋津, バルカンにおける食文化と帝國的秩序——オスマン帝国の支配とトルコ料理の分布との相関関係, 『食生活科学・文化および環境に関する研究助成 研究紀要』, 25 (2010年度), pp 119-126, 公益財団法人アサヒビール学術振興財団, 2012.

#### F. その他の業績

- 黛秋津, 書評, 尾高晉己著, 「オスマン外交のヨーロッパ化——片務的外交から雙務的外交への轉換——」, 『東洋史研究』, 71-1, pp 115-123, 東洋史研究会, 2012.

#### G. 国際学会

- 「『宗主権』概念與近代東亞」工作坊, 2012.6.30, 国立政治大学(台北市), 一般発表, 中東イスラーム世界における宗主国と付庸国——オスマン帝国とワラキア・モルドヴァ公国.

#### H. 国内学会

- 愛知学院大学人間文化研究所研究会, 2012.10.2, 愛知学院大学, 招待講演, 近世ヨーロッパとオスマン帝国.

### 三谷 博 (MITANI Hiroshi)

#### A. 著書

- 三谷博, 『明治維新を考える』, p 290, 岩波書店, 2012 (改訂版).

#### B. 分担執筆

- Mitani, H. Japan's History Textbook System and Its Controversies. Daqing Yang, Jie Liu, Hiroshi Mitani and Andrew Gordon (eds.). *Toward a History Beyond Borders: Contentious Issues in Sino-Japanese Relations*. p 472. pp 240-266. Harvard University Asia Center. 2012.
- Mitani, H. Postscript to the Japanese Edition. Ditto. pp. 434-440.
- Mitani, H. Forewords. Makito Saya. *The Sino-Japanese War and the Birth of Japanese Nationalism*. p 184. pp 4-17. I-House Press. 2011.

#### F. その他の業績

- 三谷博, エッセイ, アメリカは小さい国である——近代日本の知の『慣習』を脱するためには, 環, 51, pp 195-199, 2012.
- Mitani, H. エッセイ, Japan's History Textbook System: Creation, Screening and Selection. 英語・日本語・中国語(簡体字・繁体字)・フランス語・スペイン語, Nippon.com (<http://www.nippon.com/en/in-depth/a00701/>), 2012年6月28日.

#### G. 国際学会

- Jasmine Revolutions: The Experiences of Japan, South Korea, China, Thailand and Arab World. The

Second Congress of the Asian Association of World Historians. Ewha Women's University, South Korea. Organized and Chaired. With Hun Park, Yasuhito Asami, Ahmed Ibrahim Abushouk, Satoshi Ikeuchi, Young-Nam Cho and Young-Jak Kim. 2012.4.28. 英語.

- 日韓歴史教科書ワークショップ。東北亜歴史財団。ソウル。2012.6.9。招待講演。清水書院『新中学 歴史』における東アジアの扱い。
- シンポジウム「朝鮮(李朝)時代における公共性の構造変動」。東国大学校。ソウル。2012.11.16。招待講演。日本における公論システムの形成——比較のために。

#### H. 国内学会

- 「歴史基礎」B案(近現代史集中案)の改訂について。日本学術会議史学委員会高校歴史教育に関する分科会。2012.10.27。東京大学教養学部。

#### I. その他の研究活動

- 日中韓若手歴史家養成プログラム準備会(第1回)。2012.7.7。復旦大学歴史系(中国)。組織。
- 同(第2回)。2012.11.17。ソウル大学校日本研究所。
- 科研プロジェクト「市民的教養のための歴史学」の調査。2012.10.1-10.5。Harvard University and Northwestern University。歴史家11人にインタビュー。

### 村田雄二郎(MURATA Yujiro)

#### B. 分担執筆

- 村田雄二郎。中国ナショナリズムにとってのモンゴル。ボルジギン・フスレ・今西淳子(編)。『20世紀におけるモンゴル諸族の歴史と文化——2011年ウランバートル国際シンポジウム』。p 520。pp 103-109。風響社。2012。
- 村田雄二郎。歴史から見る現代中国の問題。中国研究所(編)。『中国年鑑2012年版』。p 536。pp 67-72。毎日新聞社。2012。
- 村田雄二郎。思想史。岡本隆司・吉澤誠一郎(編)。『近代中国研究入門』。p 272。pp 204-232。東京大学出版会。2012。
- 村田雄二郎。序章 グローバルヒストリーの中の辛亥革命。辛亥革命百周年記念論集編集委員会(編)。『総合研究 辛亥革命』。p 624。pp 1-18。岩波書店。2012。
- 村田雄二郎。従張春の立憲運動看晚清中国人的日本観。呉偉明(編)。『在日本尋找中国:現代性及身份認同的中日互動』。p 310。pp 265-280。香港中文大学出版社。2012。

#### D. 一般学術論文

- 孔祥吉・村田雄二郎。辛亥革命史料抉抉之困惑——馮自由『中華民國開国前革命史』与『革命逸史』異議。『広東社会科学』。2012.1。pp 127-138。広東省社会科学院。2012。
- Murata, Y. The Regional Structure of the 1911 Revolution: The North and the South in Chinese History. *Journal of Cultural Interaction in East Asia*, 3. pp 7-18. Society for Cultural Interaction in East Asia. 2012.

## F. その他の業績

- 村田雄二郎. エッセイ. 曹雪芹『紅樓夢』. 東京大学出版会『UP』編集部(編). 『ブックガイド 東大教師が新入生にすすめる本』. p 288. pp 32-32. 東京大学出版会. 2012.
- 村田雄二郎. エッセイ. 光陰似箭: いまこそ袁世凱研究を. 中国研究月報. 66-12. pp 47-48. 中国研究所. 2012.

## G. 国際学会

- 日中共同ワークショップ・中国当代史研究. 華東師範大学中国当代研究センター. 華東師範大学. 上海. 2012.7.28-29. 中国語. 司会とコメンテーター.
- 東アジア文化の中の中国 China in East Asian Culture. 東北アジア財団・東アジア史研究フォーラム. 延世大学. ソウル. 2012.11.2-11.3. 報告. 漢字文化圏の同床異夢.
- 中国の政治改革と少数民族の権利——いわゆる“第二次民族政策”をめぐる. 滋賀県立大学国際コミュニケーション学科・ケンブリッジ大学モンゴル内陸アジア研究センター (MIASU, Cambridge). 滋賀県立大学. 彦根. 2012.12.8. 中国語. コメンテーター.

## I. その他の研究活動

- 記念講演「清朝から見た辛亥革命」. 辛亥革命百周年東洋文庫ミュージアム特別展示記念講演会. 財団法人東洋文庫. 東京. 2012.2.5.

## 村松真理子 (MURAMATSU Mariko)

### A. 著書

- Muramatsu, M. *Segni e voci dalla letteratura italiana. Da Dante a D'Annunzio.* (Collection UTCP 11). p 143. UTCP. 2012.
- 村松真理子 (監修および翻訳). 『旅 テクストへ/テキストから——文学・哲学・歴史をめぐる現代イタリア・地中海からの発信』 (UTCP Booklet 22). p 154. UTCP. 2012.

### C. レフェリー付き学術論文

- 村松真理子. 「天使のような貴婦人」の系譜. 『西洋中世研究』4. pp 98-124. 西洋中世学会. 2012.

### G. 国際学会

- 第12回世界イタリア語週間. クルスカ学会・イタリア外務省. 東京 (イタリア文化会館). 2012.11.11. 一般発表. *Lingua e territori. Esperienze a confronto: Italia e Giappone* [言語と地域性、日伊の歴史的比較]. イタリア語.

### H. 国内学会

- イタリア研究会第379回例会. イタリア研究会. 東京 (南青山会館). 2012.1.27. 講演. ダンヌンツィオと日本——友則、雷鳥、三島.
- イタリア研究会第385回例会. イタリア研究会. 東京 (東京文化会館). 2012.7.24. 講演. タブッキののこしたものの.



## I. その他の研究活動

- 2011-12 Melon Visiting Fellow at Villa I Tatti. The Harvard University Research Center for Italian Renaissance Studies.

## 森井裕一 (MORII Yuichi)

### B. 分担執筆

- 森井裕一, ヨーロッパと EU (序章), ドイツ (第 2 章), EU のしくみ (第 10 章), EU の対外政策 (第 13 章), 森井裕一 (編), 『ヨーロッパの政治経済・入門』, p 320, pp 1-7, pp 33-54, pp 199-213, pp 257-271, 有斐閣, 2012.
- 森井裕一, シュレーダー政権の評価とメルケル政権の動向 (第 9 章), 押村高・小久保康之 (編), 『EU・西欧』 (世界政治叢書 2), p 238, pp 193-215, ミネルヴァ書房, 2012.
- 森井裕一, EU と東アジアの安全保障におけるアメリカの役割 (第 10 章), 山本吉宣・羽場久美子・押村高 (編), 『国際政治から考える東アジア共同体』, p 320, pp 196-212, ミネルヴァ書房, 2012.

### C. レフェリー付き学術論文

- 森井裕一, ドイツの安全保障文化の変容——連邦軍と徴兵制をめぐる議論を中心として, 『国際政治』, 167, pp 88-101, 日本国際政治学会, 2012.

### D. 一般学術論文

- 森井裕一, 欧州危機とドイツ政治, 『海外事情』, 2012.5, pp 18-33, 拓殖大学海外事情研究所, 2012.

### F. その他の業績

- 森井裕一, 時評, ヨーロッパの行方——『ヨーロッパの政治経済・入門』の刊行によせて, 『書齋の窓』, 616, pp 17-21, 有斐閣, 2012.
- 森井裕一, コラム, 私の近著: ヨーロッパの政治経済入門, 時事通信社『Janet』 (<http://janet.jw.jiji.com/>), 2012.5.8.
- 森井裕一, 時評, オランダ政権は EU 協調に舵をきれるか? 財政条約に背を向けてユーロは安定しない, 『日経ビジネスオンライン』 (<http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20120508/231777/>) 2012.5.9.
- 森井裕一, 時評, 焦点はサルコジ対オランダではない——内を向くフランス: 極左・極右は欧州協調への不信任, 『日経ビジネスオンライン』 (<http://business.nikkeibp.co.jp/article/topics/20120424/231362/?rt=nocnt>), 2012.4.24.

### G. 国際学会

- 15th Japan-EU Conference 'Japan-EU Cooperation in a Changing World: Approaches to Rules and Standards'. Japan Foundation, および KU Leuven, Leuven Centre for Global Governance Studies, ULB, EU-Japan Centre for Industrial Cooperation, TEPSA, ICU, Waseda University. University Foundation,

Brussels. 2012.11.26. 一般発表. “Japan and EU in Multilateralism — a Case of Human Security”. 英語.

#### H. 国内学会

- 日本国際政治学会 2012 年度年次大会. 部会 12. EU ガバナンスの射程. 日本国際政治学会. 名古屋国際会議場. 2012.10.21. 討論.

#### 森山 工 (MORIYAMA Takumi)

##### C. レフェリー付き学術論文

- 森山工. 遺体を同化する——マダガスカルにおける墓と埋葬. 『国立民族学博物館調査報告』. 103 (飯田卓編 『マダガスカル地域文化の動態』). pp 187–205. 国立民族学博物館. 2012.

##### F. その他の業績

- 森山工. 地域研究コンソーシアム年次集会シンポジウム報告書. 日常性とカタストロフィ——マダガスカル地域研究から. 上野稔弘・西芳実・山本博之 (編). 『「情報災害」からの復興——地域の専門家は震災にどう対応するか』. pp 40–45. 地域研究コンソーシアム (JCAS)・京都大学地域研究統合情報センター・大阪大学グローバルコラボレーションセンター・大阪大学世界言語研究センター. 2012.
- 森山工. 項目執筆. マダガスカルのフランス語文化. 田村毅・塩川徹也・西本晃二・鈴木雅生 (編). 『フランス文化事典』. p 800. pp 622–623. 丸善株式会社. 2012.
- 森山工. 報告記事. フィールドワークの認識——〈現実〉と〈虚構〉のはざままで. 『Cahier』 10. pp 34–35. 日本フランス語フランス文学会. 2012.

#### H. 国内学会

- 日本フランス語フランス文学会 2012 年度春季大会. ワークショップ「フィクション論の現在」. 日本フランス語フランス文学会. 東京大学本郷キャンパス法文 1 号館 212 室. 2012.6.3. 一般発表. フィールドワークの認識——〈現実〉と〈虚構〉のはざままで.

#### 矢口祐人 (YAGUCHI Yujin)

##### G. 国際学会

- 2012 Teacher Institute. World War II: How it Transformed America, Hawai‘i, and the Pacific. Pacific Historic Parks. Honolulu. 2012.7.20. 招待講演. Teaching the Pacific War in Japan. 英語.
- The Pacific Coast Branch of the American Historical Association Annual Conference. The Pacific Coast Branch of the American Historical Association. San Diego. 2012.8.11. 一般発表. Japanese Reinvention of ‘Self’ through Hawai‘i’s Japanese Americans. 英語.
- American Studies Association Annual Conference. American Studies Association. San Juan. 2012.11.17. 司会. コメント. 英語.

## H. 国内学会

- アメリカ学会年次大会, アメリカ学会, 名古屋大学, 2012.6.3, 報告, アメリカ研究を教える学部と大学院間の「ダイアログ」を求めて.
- 戦争の記憶と継承: 記念館・教育・観光, 「戦争の記憶と継承: 記念館・教育・観光」科研, 鹿児島大学, 2012.7.29, コメント.

## 安岡治子 (YASUOKA Haruko)

### B. 分担執筆

- 安岡治子, ロシア文学における東と西, 塩川伸明・小松久男・沼野充義・宇山智彦(編), 『ユーラシア世界① 〈東〉と〈西〉』, p 244, pp 19-50, 東京大学出版会, 2012.

## 和田 毅 (WADA Takeshi)

### C. レフェリー付き学術論文

- Wada, T. Modularity and transferability of repertoires of contention. *Social Problems* 59.4, pp 544-571, 2012.

## H. 国内学会

- 第49回ラテン・アメリカ政経学会全国大会, 東洋大学白山第2キャンパス, 2012.11.10, 招待講演, ここ20年間の社会学による中南米地域への研究と展望.
- 日本ラテンアメリカ学会東日本地区研究部会研究会, 東京大学本郷キャンパス, 2012.12.22, 運営委員, 研究会の組織・運営・会報向け資料作成.

## I. その他の研究活動

- 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究C, 「スペイン語圏の社会的事件の通時データベースの作成と政策決定への応用」(22530531)の研究計画に基づいた、新聞記事自動収集ソフトウェアの開発.
- 学術雑誌『国際関係論研究』の論文査読.
- メキシコ・シティにおいてフィールドワーク(抗議行動関連資料の収集), 2012.8.23-9.10.